

平成35年度の開通に向けて着々と進む新名神高速道路建設事業。その滋賀県域を担当している「NEXCO西日本関西支社 新名神大津事務所」の新所長・池聖さんと、中野地区の工事を担当した中林建設(株)の越智康司さんに話を聞きました。



新名神大津事務所  
所長 池 聖さん

―自己紹介をお願いします。  
 ―平成29年7月1日に所長として着任しました。7年前、新名神高速道路事業に携わっていましたが、部署の異動でしばらく土木の現場から離れていました。交通の大動脈をつくる、という大事業に携わるということに、喜びと責任の重さを感じています。  
 ―今後、どのように建設工事を進めていくのでしょうか？  
 ―現在、用地は、7割を取得しました。工事用道路の工事は3件着手し、そのうち中野地区の工事用道路が8月に竣工しました。また本線工事は1件を発注しました。平成35年度の開通に向けて、順次着工していく予定です。

―この事業によって、滋賀県はどのように変化するのでしょうか？  
 ―滋賀県域12・2kmの中に、新名神大津スマートインターチェンジ(仮称)と新名神大津サービスエリア(仮称)を整備する予定です。これによって大津市南部地域の産業や観光の活性化が見込まれます。また名神高速道路と京滋バイパスに並ぶ国土軸ができることにより、交通のリダンダンシー(多重性)が高まり、渋滞が解消されたり、人やモノの移動がスムーズになります。さらに防災や高度医療体制の充実も期待できます。  
 ―池所長が仕事をする上で大切にしていることは何ですか？  
 ―「コミュニケーション」です。事業を進める過程で、さまざまな立場や意見に直面します。でも本音でコミュニケーションを図り、全員に理解してもらえるよう努力をしたいですね。近江商人の精神に「三方よし」がありますが、私たち流には「地元よし、事務所よし、協力会社(工事会社・コンサルタント会社)よし」を信条に、誠心誠意取り組んでいます。  
 ―新所長としての抱負を聞かせて下さい。  
 ―地域の方々にご理解、ご協力を頂きながら、安全に、未来の滋賀のためにいいものをつくっていききたい。道路工事の完成だけでなく、その後の道の使われ方にも気をつけ、管理していきます。県内外の人に「新名神をつくってよかったね」と言ってもらえることが目標です。



中林建設株式会社  
土木部土木課工事長  
越智康司さん

―今回はどのような工事を担当されたのですか？  
 ―新名神高速道路本線までの工事用道路の建設と、工事用道路として利用させて頂く荒戸橋の抜中(架け替え)工事です。架け替えによって河川内の橋脚数が少なくなり、洪水を引き起こすリスクが減少したと思います。  
 ―工事で苦労した点や、工夫した点はどこですか？  
 ―非出水期(川に水の少ない時期)にしか工事ができないので、施工計画を工夫しました。地域住民の方には事前に説明会を開き、工事の進捗状況がわかる工事ニュースピラを作成して、配布しました。道路利用者がわかりやすいように、迂回路の案内等にも配慮しました。特に工事関係車両の通行は、近隣学生の登校後の午前9時以降にするなど



現場パトロールの様子

ど安全管理にも留意しました。  
 ―滋賀県域で最初の工事を終えた感想を聞かせて下さい。  
 ―工事完成後、大雨の日の荒戸橋周辺の河川水位は、工事着手前より明らかに下がりました。やりがいのある工事を、無事故で完成することができた達成感であふれています。



### 笹間ヶ岳工事の安全祈願祭

6月7日(水)に、「新名神高速道路 笹間ヶ岳工事」の安全祈願祭が毛知比神社で行われました。

当日は雨でしたが、受注者、NEXCO西日本の社員、施工管理員、関津自治会長、里自治会長の総勢13名が参加し、工事の安全を祈願しました。



### 安全パトロールの実施

6月16日(金)に、新名神高速道路牧工用道路工事において、新名神大津事務所管内安全協議会(安全パトロール)を開催し、大津労働基準監督署、NEXCO西日本、各工事の受注者など合わせて25名が参加しました。

当日は、NEXCO西日本から工事概要説明、工事の受注者から作業内容説明のあと、全員で工事安全パトロールを行いました。意見交換のあと、大津労働基準監督署から安全講話を受け、安全について再認識できた一日となりました。



### 「河川を美しくする会」に参加

6月17日(土)に、田上地区の「河川を美しくする会」に参加しました。NEXCO西日本からは4名が参加し、お花300ポットを提供するとともに花壇整備のお手伝いをしました。このイベントは、田上学区連合会などの各種団体や自治会長さん等が参加して、毎年2回行われている川沿いの景観に彩りを添える恒例の行事です。



### 自然環境保全検討会の開催

7月7日(金)に、新名神大津事務所では、計画路線周辺の動植物の生息・生育環境の保全対策方法について、工事の実施に反映させることを目的とした「第3回新名神高速道路 滋賀県域自然環境保全検討会」を開催しました。委員の先生方には、工事用道路計画地周辺の現地を見て頂き、また、会議では保全対策方法について活発な意見交換が行われました。



### 安全衛生推進大会の開催

7月18日(火)に、労働災害及び公共災害を防止することを目的に、『新名神大津事務所管内 安全衛生推進大会』を開催しました。

大会には大津労働基準監督署の堀副署長、大津警察署 交通第一課 奥村警部補に出席して頂き、池会長(新名神大津事務所長)の開会挨拶のあと、大津警察署 奥村警部補に交通安全の講話をして頂きました。

大会では、無事故・無災害で工事を竣工した高島 鉦建欄に対して、優良事業所表彰を行い、また、新副会長の佐野現場代理人(嵯桑原組)から安全宣言を行いました。

### 「新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会」大会の開催

8月26日(土)に、大津市内で「新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会」大会が開催されました。会長の滋賀県知事の挨拶を皮切りに、来賓の国会議員祝辞などに続いて、NEXCO中日本とNEXCO西日本から事業の現況説明を行いました。その後、地元の声として両県の代表者から意見発表が行われ、大津市長による決議の朗読と、本協議会の副会長である三重県知事の挨拶で締めを飾りました。

また、7月5日(水)に大津市役所において、「滋賀新名神高速道路建設促進期成同盟会総会」も行われました。

